

山行報告書

報告書作成

2006年5月14日

山名 [山域]	鈴鹿・国見岳	目的と方法	花観賞
登山期間	2006年5月13日(土)	山行形態	ピストン
参加人数	6名		

行動記録

5/13(土)旧岡崎市民病院P 6:00 == 朝明溪谷P (8:15、8:30) --- 分岐(10:10) --- ブナ清水(10:40、11:10) --- 分岐(11:40) - - 朝明溪谷P(12:30) == 温泉 希望荘(自助の湯) == 御蕎麦 (15:35) == 岡崎P

概念図



日誌

5/13(土)

天候は予想通り朝から雨。CLよりミーテング(水曜日)の時 雨天決行。中止したい人は 連絡不要。出発時間に集合しない事が不参加表明との事が共通認識。6時の集合時間に 雨天なれど 誰一人欠席者なし。余程の山好きか そのうち晴れるとの自信家が定かではないが とにかく 現地に向け 予定通り出発。現地で 山行如何を決定となった。

雨は 容赦なく 朝明溪谷駐車場に着くまで 降り続いた。広い駐車場は 2・3台の車。人気は 我々以外無し。本来ならば 駐車料金集金の係員が いるはずだが、この雨で無人。ひどい降りでないで 国見山周回は 止め ブナ清水までの ピストン山行に 決定。コースは 根の平峠への一般ルートを進み、峠の手前で 国見岳への バリエーションルートだが 昨今 すでに しっかりした 踏み後もあり わずかに テープもある。このコースは 昨年 CLとMさんが 経験され お勧めの 穴場でもあるという事。雨と 晩春の霞のなか 緑の落ち着いた山中へと進む。風も急登もなく 傘をさして 歩ける。イワカガミ・ヤマツツジが 雨の中 咲いているのを見つける。シャクナゲも 僅かながら

咲いている。高度をあげていくと イワカガミの 群生地(斜面)につく。今年は まだ 早すぎたようで 一面の勢いのある葉ばかりである。お花の最盛期は さぞや見事であろう。シロヤシオも 咲いてはいなかったが、芽吹いたばかりの薄緑のブナや雑木林は春雨と春霞によって 風流な趣さえ 感じられる。ブナ清水で 休憩。湧き水で コーヒーブレイク。芦生の森に似た風景に 周辺を散策。ツクバキンモンソウ観察。ニシキゴロモに 似るが 違いは花冠の上唇が1mm程度で殆ど無きに等しい。帰りは 一気に Pまで。温泉・お蕎麦と 早く下山したお陰で ゆっくり楽しめた。

感想

雨天ならば普段は中止する山行が多い中、雨でも 十分に楽しめる山行もあることを味わった。雨も又 風情を感じさせる。今回は 入会間もない20代新人のOさんの 2回目の山行である。一般的には 一見 Oさんは 中高年登山のガイドに見えそうである。近い将来には CLとして我々中高年を山に誘って 活躍していただいそう な頼もしい青年である。